

令和5年度 学校図書館活用推進校実践報告

新潟市立味方中学校

1 味方中学校生徒の実態

令和4年度統計

蔵書冊数 10,012冊 貸出冊数 2,159冊

当校は、全校生徒105名、全5学級編成の小規模校である。朝読書への取り組みはよくできている。年度当初に、「朝読書の時間は読書を行う。」と教職員で共通理解を図ったことによるものが大きい。図書館から借りた本を昼休みに教室で読んでいる生徒の姿も見られ、貸出冊数も増加している。

「読書センター」としての機能は充実してきている一方、「学習センター」、「情報センター」としての機能については、まだ十分ではない部分がある。そこで、今年度は、「学習センター」、「情報センター」としての機能の充実に焦点をあてた取組を行うこととした。さらに、今年度は味方小中学校で総合的な学習の時間において「食育」に取り組んでいることから、さらに小中連携を図ることとした。

2 図書館教育で育てる力

- (1) 読書の楽しさを覚え、自ら進んで本を手にする。
- (2) 図書館や本を、学習や生活に役立てる。(令和5年度、重点)
- (3) 読書を通じてコミュニケーション能力を高め、言語活動に生かす。

3 実践内容

○情報活用能力を育成する→「学習センター」、「情報センター」としての機能

- (1) 「探究の過程」の視覚化、共有化

生徒も教職員も「探究の過程」を意識しながら学習が展開できるよう、1階生徒玄関脇の掲示板(生徒の通行が頻繁なところ)に進捗状況を随時掲示し、視覚化、共有化した。今年度は、特に、「課題設定」に至るまでの情報収集、問題意識の醸成に力を入れた。

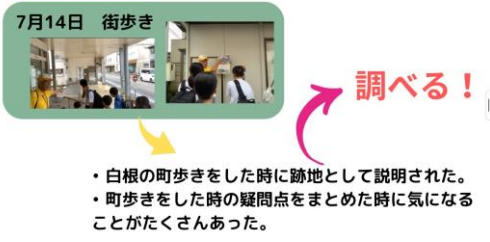
[生徒玄関脇「探究の過程」掲示 (※司書が作成したもの)]



これによって、生徒一人ひとりが、主体的に探究を進めることができた。また、「情報の収集」では、インタビューした方からいただいた資料や書籍、インターネットの情報などから積極的に収集する姿が見られた。

[生徒がまとめたプレゼンテーション（一部）]

① ヤマキチ醤油を調べることになった経緯

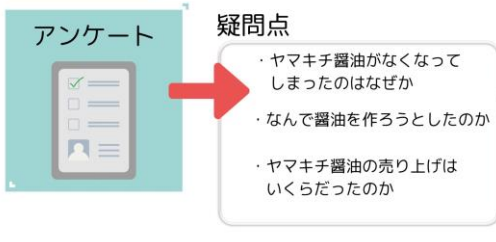


7月14日 街歩き

調べる!

- ・白根の町歩きをした時に跡地として説明された。
- ・町歩きをした時の疑問点をまとめた時に気になることがたくさんあった。

③ あがった疑問点







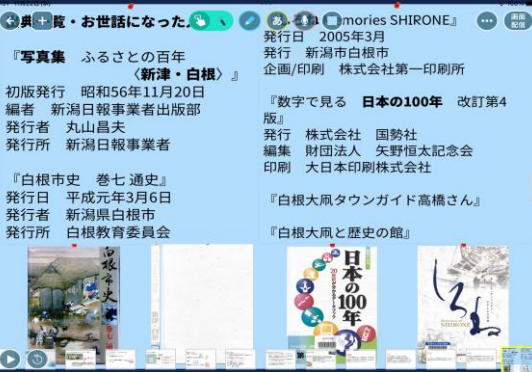
アンケート

疑問点

- ・ヤマキチ醤油がなくなってしまったのはなぜか
- ・なんで醤油を作ろうとしたのか
- ・ヤマキチ醤油の売り上げはいくらだったのか

④ 調べた方法

- ネットで調べる 
- 高橋さんの話をお聞きする 
- 本 
- 高橋さんからもらった資料 



ふるさとの百年 (新津・白根)

数字で見る 日本の100年 改訂第4版

白根市史 巻七 通史

白根大風タウンガイド 高橋さん

白根大風と歴史の館

「まとめ、発表」では全校生徒や地域の方々に学びの成果をプレゼンテーションソフトを使いまとめたものを使って発信した。

[全校、地域に向けた発信]



[さらに学びを深めるためのファシリテーション]



その後、地域の方々も一緒に全校ファシリテーションを行い、学びをさらに深めた。

(2) 思考ツールの掲示

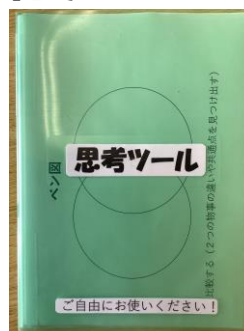
生徒も教職員も、思考ツールを意識した学習に取り組めるよう、図書館内に掲示し、冊子にまとめた。

これにより、これまで使ったことのなかった思考ツールを、生徒、教職員ともに挑戦して使ってみようとする気持ちが強くなった。

[学校図書館内掲示 調べる学習の6ステップ]



[思考ツールファイル]



また、各学年の教科単元にまつわる本を展示し、授業で興味、関心を抱いた生徒がより深く調べようとする雰囲気を作り出し、学びを深める生徒の姿がみられた。

[学校図書館内掲示 単元に関する本]

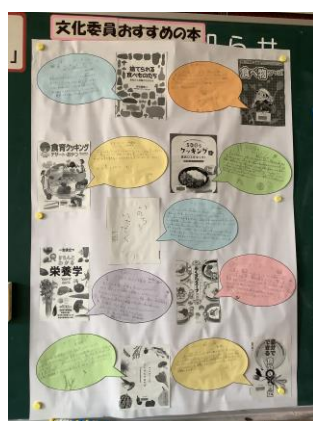


○小中連携

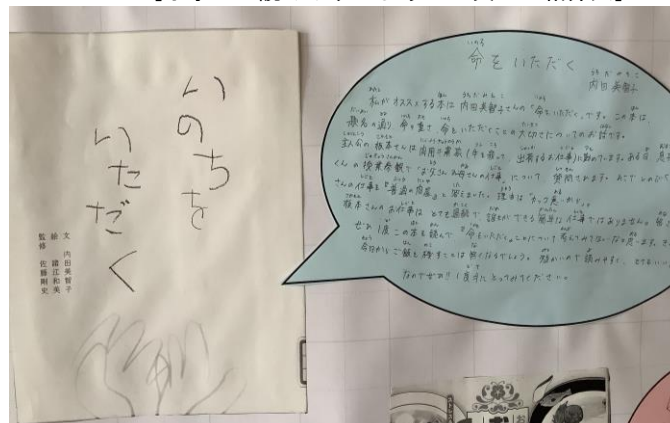
①小学校へ食に関する「おすすめの本」の紹介

生徒会活動では、文化（図書）委員会の活動で毎月「おすすめの本」を作成、掲示を行っている。今年度は、小中共に総合的な学習の時間において「食育」に取り組んでいることから、食に関する「おすすめの本」の紹介ポスターを2枚中学校から小学校へ送り、小学校の図書館に掲示していただいた。小学生が読むことを考慮し、ふりがなをつけたり、興味をもってもらえるよう工夫したりしてポスターを作成した。

[文化（図書）委員会作成「おすすめの本」（食に関する）]



[小学生が読みやすいように工夫した紹介文]



②図書館だよりの交換

小学校、中学校の図書館だよりを交換し、情報の共有を図った。それぞれの学校の取組や大切にしていることを共有することによって、9年間を見通した図書館経営の見直しをもつことができた。

[味方中学校 図書館だより]



[味方小学校 図書館だより]



4 成果と課題

(1) 成果

①生徒の「総合的な学習の時間」の振り返りから

ア 総合的な学習の時間の学びを通して、あなたが身についたと思う力は何ですか？

- ・「ネットじゃなくて、本で調べる力がついた。」
- ・「いつもはネットや本で調べてプレゼンを作成したいけれど、実際に聞いてみることで、ネットより正しい情報が得られるということがわかりました。」

イ 総合的な学習の時間の学びを終えて、もう少し身につけたいと感じた力は何ですか？

- ・「疑問や質問を考える力です。いろんな方々にお話を聞きました。その際、時間があつたにもかかわらず、疑問に思ったことや、質問があまり思いつかなかったの。」
- ・「みんなの前で発表する力とプレゼンを作る力」

[総合的な学習の時間の振り返り（身についた力）]

[3] 今回の「総合的な学習の時間」を通して身についたと感じる力をなぜそう感じたのか理由も書いてください。

回答一覧

ネットじゃなくて、本で調べる力がついた
本や話だけで原稿を書けたから

人と関わることの大切さを学びました。実際に六斎市に行ってインタビューしたり、学校に振り売りをしている方々がいらっした時にインタビューをしたりして、いつもはネットや本で調べてプレゼンを作成していたけれど、今回は実際に働いている方に聞いてみました。実際に聞いてみことで、ネットより正しい情報が得られるという事がわかりました。

[総合的な学習の時間の振り返り（身につけたい力）]

- 【4】今回の「総合的な学習の時間」を通してもう少し身につけたいと感じた力をなぜそう感じたのか理由も書いてください。

回答一覧

疑問や質問を考える力です。

今回の総合でいろんな方にお話をお聞きました。その際により多くの情報を得るために質問の時間などはありませんでしたが疑問に思ったことや質問があまり思いつかなかったのでその力をもっと身につけたいです。

みんなの前で発表をする力とプレゼンを作る力

(2) 課題

「探究の過程」を全生徒、全教職員で共有しながら学習を進めることで、生徒に課題を設定する力、情報活用能力、コミュニケーション能力等の力を確実に高めることができた。また、教師は「探究の過程」をふまえたことで、より探究的な学びを促す単元づくりを進めた。生徒は、「探究の過程」を意識して主体的に学びを進めた。視覚化、共有化することの重要性を改めて感じた。

今後も、「探究の過程」を全生徒、全教職員で意識した取組を継続して続けていくために視覚化、共有化が重要である。